監視センターシステム

FAX送信確認機能 説明資料

JA [.]	-LP	ZBS	

作成 2013/12 更新 2016/12



監視CS更新 2016/12/19(月)FAX送信確認機能【送信前確認運用について】

7成化 【公司利亚能心理人

目的

FAX送信前に、現在は一切送信先や送られるデータの一覧確認ができなかった。 現状のPGの手直しを最小限として年内に確認手順を確立する。

確認後送信の運用案

ステップ 1	FAX/メールデータのログ出力【自動定刻実行】	30分 程度
ステップ 2	確認画面にて、監視員が確認。	1分 程度
ステップ 3	バッチを監視員が実行。	160分 程度
ステップ 4	「FAX送信確認機能」の手順で確認。	10分 程度

※時間は仮目安。データ量により上下します。

流れ

ステップ 1

※時刻は目安

AM5:30

自動FAX端末にて、自動実行してログ出力。

→ログが、実行結果欄の表示元となる。

AM5:28

war023sにて、自動で送信対象リスト作成。

→送信対象リスト欄の表示元となる。

完了すると「ピンポンピンポン」と音が鳴る

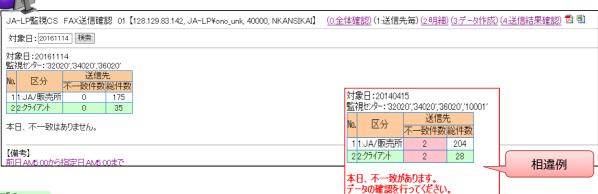
ステップ2

AM5:45頃

任意の端末にて、監視員が確認画面を開き、相違点が無いか確認。

→相違がある場合は別画面にて詳細を確認頂く。

→原因が不明の場合は、運行開発部経由でZBSへ連絡頂く。



ステップ3

AM5:50頃

自動FAX端末にて、監視員がデスクトップ上「自動FAX朝実行バッチ(仮)」を実行して送信開始。



ステップ 4

AM7:00

自動FAX上書。了確認メールにて、処理の正常終了を確認。(20161219)

AM8:30(20161219)

全ての送信が終了したか確認。

メール : BCCメールの受信トレイ確認

FAX: baba_hirアカウントにてFAXコンソールを確認。

FAXコンソールでの確認後、「FAX送信確認機能」の手順に従い、送信結果を確認。

URL

開発サーバ: http://10.10.100.24/JPG/autofaxcheck.aspx 本番サーバ: http://10.11.100.13/JPG/autofaxcheck.aspx

2/15

監視CS

FAX送信確認機能 【送信結果確認運用について】

作成 2016/12/14 (水) 更新 2016/12/19 (月)

ZBS

目的

システムで作成したFAXデータがFAXサーバーから送信されたことを確認する。 システムのログとFAXサーバーのログを突き合わせ、一覧表示する。

送信後確認の運用案

ステップ1 累積情報自動FAX/自動FAX 送信完了を確認

ステップ2 バッチ(FAXサーバーログ取込)を監視員が実行 1分 程度

ステップ3 確認画面にて、監視員が確認。

※時間は仮目安。データ量により上下します。

流れ

ステップ 1

※時刻は目安

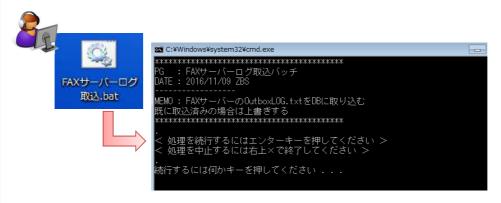
AM0:40

累積情報自動FAXにて送信したFAXが 全て送信完了したことをFAXコンソールで確認。 AM7:00 自動FAXにて送信したFAXが 全て送信完了したことをFAXコンソールで確認。

ステップ 2

AM0:40頃/AM7:00頃

自動FAX端末にて、監視員がデスクトップ上「FAXサーバーログ取込」を実行し、FAXサーバーの送信ログを取り込む。

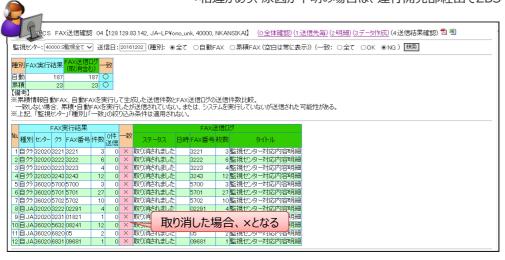


ステップ3

AM0:45頃/AM7:05頃

任意の端末にて、監視員が確認画面を開き、相違点が無いか確認。

→相違があり、原因が不明の場合は、運行開発部経由でZBSへ連絡頂く。



終了

AM1:00頃/AM7:15頃

確認画面にて、送信されていることが確認できたら終了。

メールについては従来どおり、BCCメールの受信トレイにて確認し、終了。

URL

開発サーバ: http://10.10.100.24/JPG/autofaxcheck.aspx 本番サーバ: http://10.11.100.13/JPG/autofaxcheck.aspx

監視CS

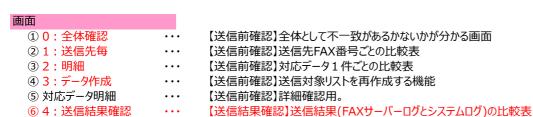
FAX送信確認機能 【画面説明】 ZBS

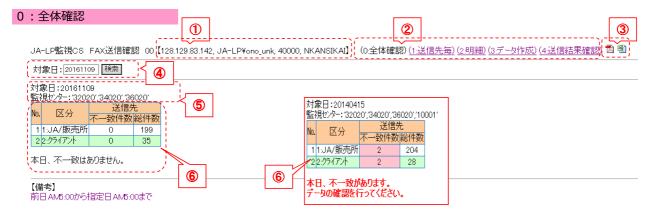
基本説明

ログインユーザのグループにより、表示制御あり。

40000→東北から九州まで。 10001→沖縄のみ。(20161219)運行以外の一般ユーザは表示不可。 詳細は別紙。

- 6画面「全体確認画面」「確認画面(送信先単位)」、「対応1件づつの一覧画面」、「データ作成画面」、「詳細画面(簡易)」
 「送信結果確認画面 |を用意。
- ・この機能の目的
 - 1. 実際の送信前に、送信対象の確認及び、送信先の確認を行う為の機能。
 - 2. 自動FAXプログラムに誤りがないかの確認する機能。(送信漏れ/誤送信) ※過去送信分の確認機能を有していますが、本来の目的とは外れた副産物的な物です。
 - 3. FAXサーバーから実際に送信されたFAXと自動FAX・累積情報自動FAXプログラムで作成されたFAXデータを比較・確認する機能。





- ① ログインユーザ情報
 - ログインユーザの端末IP
 - ログインユーザID(JA-LP社内のADが管理しているユーザID)
 - ・ 部門コード
 - 接続先データベース
- ② 別画面へのリンク
 - 画面0~3(20161219) 4
- ③ 説明資料 PDFファイルとエクセルファイル
- ④ 対象日選択

日付を選択。

- ⑤ 結果条件
 - 検索した条件の対象日および監視センターを表示
- ⑥ 結果表示

区分2種類ごとの不一致件数/総件数(送信先の件数) 沖縄は沖縄のみ。川口は沖縄を含む全国。



- ① ログインユーザ情報
 - ログインユーザの端末IP
 - ログインユーザID(JA-LP社内のADが管理しているユーザID)
 - 部門コード
 - 接続先データベース
- ② 別画面へのリンク
 - 画面0~3(20161219) 4
- ③ 説明資料 PDFファイルとエクセルファイル
- 4 検索条件
 - 送信単位 : JA/クライアントの送信対象選択
 - 監視センター: 表示する監視センターを選択する。
 - 通常当日を指定。過去実績を見る場合は、日付を数字8ケタで指定。 対象日
 - ☆【便利機能】キーボード上下で日付変更可能。SHIFTキーと上下で1ヶ月単位で変更可能。
 - 押下して検索実行。20~30秒程度で検索・表示完了。 検索
- ⑤ 送信対象リスト
 - → 送信するべき一覧。 監視システムの対応入力画面から入力された「対応データ」を元に、 JA担当者マスタ&JA担当者マスタ2JA報告先マスタを利用して割り出したものです。
 - 件数は、送信対象件数(相手先に送られる枚数と同じ)
 - 総数は、送信対象外も含んだ対応データ件数。
 - 該当マスタは、JA担当者マスタ&2JA報告先マスタのどこの設定が該当したかを表す。
 - 送信先名は、JA担当者マスタJA報告先マスタにて設定されている名称(自動FAX送信名。なければ担当者名漢字)を表示。

※HN2MASを参照する訳ではない。FAX送信時の送信先名と同様。

※送信単位「クライアント」時は、作成時のテレコンクライアントマスタを参照。

⑥ 一致

- → 「送信対象リスト」と「自動FAX実行結果」の一覧のうち、「FAX/メール」と「件数」を比較した結果を表す。
 - 〇:一致、正しい
 - × : 不一致、不正
 - ※「送信対象リスト」の件数がゼロ且つ「自動FAX実行結果」がナシは、正しいと判断して〇。
 - ※「送信対象リスト」がブランク且つ「自動FAX実行結果」の「O件送信」が1:アリの場合は、正しいと判断して〇。
- ⑦ 自動FAX実行結果
 - → 自動FAXプログラムにより生成されたFAXデータの結果一覧。

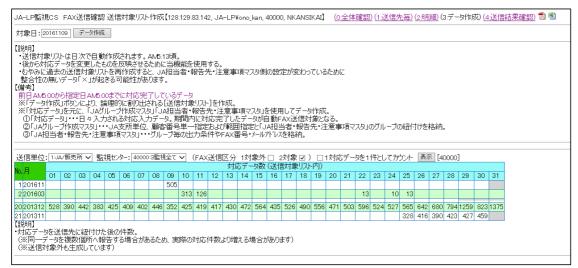
2:明細



「データ確認 01」との違い。

- 明細一覧の表示
- 検索条件に「FAX送信区分」と「不一致のみ」が追加
- 処理番号、顧客コート、県名称、顧客名称、送信区分が追加 一致は、「センターコート」「クライアントコート」「FAX/メール」「処理番号」が一致するか判断。
- ①「処理番号」のコードをクリックすることにより、対応データの明細が確認できます。 ②「更新日時」により、対応データがいつ作成・更新されたか判断できます。
 - ※対象日のAM5:14以降に更新された箇所は、背景黄色となります。

3:データ作成



データ作成

- ・ 指定した日付の「送信対象リスト」を作成し直します。
- ・【注意】一度に複数PCから作成指示は行わないでください。エラー、サーバ負荷上昇の原因となる可能性があります。
- 【注意】過去作成済みのデータを再作成すると、当時のマスタ設定と違い、現在のマスタ設定を参照するため、「×」となる箇所が増える可能性があります。
- ・【注意】全監視センターを対象としています。沖縄も含む。
- · DB内のデータ作成処理を日付指定で呼び出す機能です。

【技術情報】

SQLPLUSからは、以下コマンドで実行可能。

variable vRet varchar2(2000);

EXECUTE : vRet := KANSHI.FNC_MAKE_SO6AUTOFAXTAIDB('20131206', '10.10.100.100', 'zbs');

対応データ数一覧

- 作成済みの対応データが視覚的にわかる表。
- 条件を変えて表示することが可能。

対応データ明細



- 対応データの明細を表示。
- 項目の定義は別紙。
- ※簡易的な確認画面です。コードに対する名称などを併せて確認する場合は、対応入力画面を利用ください。

4:送信結果確認



① 検索条件

監視センター:表示する監視センターを選択する。

・ 対象日 : 送信した日付を入力。通常当日を指定。過去実績を見る場合は、日付を数字8ケタで指定。

☆【便利機能】キーボード上下で日付変更可能。SHIFTキーと上下で1ヶ月単位で変更可能。

• 種別 : 表示するFAXの種類を選択する。(一覧表「種別」が空欄のデータは常に表示する)

一致 : 一覧表「一致」により、表示を絞り込む。

・ 検索 : 押下して検索実行。20~30秒程度で検索・表示完了。

② 送信件数比較

→ 自動FAX・累積FAXプログラムにより生成された送信件数と、FAX送信ログに記録された送信件数を比較。 (対応データの件数ではなく、送信先の件数)

種別 : 自動、累積、その他の3種類を表示

• FAX実行結果: 自動FAX・累積FAXプログラムにより生成された送信先の件数。

FAX送信ログ: FAXサーバーのログに記録された、送信件数。

(取消含む)

一致 : FAX実行結果とFAX送信ログの件数が一致していれば〇。

③ 自動FAX実行結果

→ 自動FAX・累積FAXプログラムにより生成されたFAXデータの結果一覧。

種別 : 「自クラ」 自動FAX(クライアント)。「自JA」 自動FAX(JA/販売所)。

「累」 累積情報自動FAX。

センター : 監視センターコード。クラ : クライアントコード。FAX番号 : 送信先FAX番号。

・ 件数 : 送信した対応データ件数(0件送信の場合は、"1"と表示)。

0件送信 : 0件送信を行った場合は、"1"と表示。

④ 一致

→「自動FAX実行結果」と「FAX送信ログ」を比較した結果を表す。比較する項目は、一覧表「種別」により異なる。 種別「自クラ」「自JA」 →「FAX番号」と「FAX番号」、「件数」と「枚数」が一致し、「ステータス」が"完了"であれば〇。

種別「累」 →「FAX番号」と「FAX番号」が一致し、「ステータス」が"完了"であれば〇。

○ : 一致、正しい × : 不一致、不正。

⑤ FAX送信ログ

→ FAXサーバーのログから取得した、FAX送信ログ。

ステータス : 送信完了したものは「完了」と表示。

日時 : 送信完了した日時。FAX番号 : 送信先FAX番号。

枚数 : 送信枚数。

タイトル : FAXのタイトル。(FAXそのものに印字されるものではない)

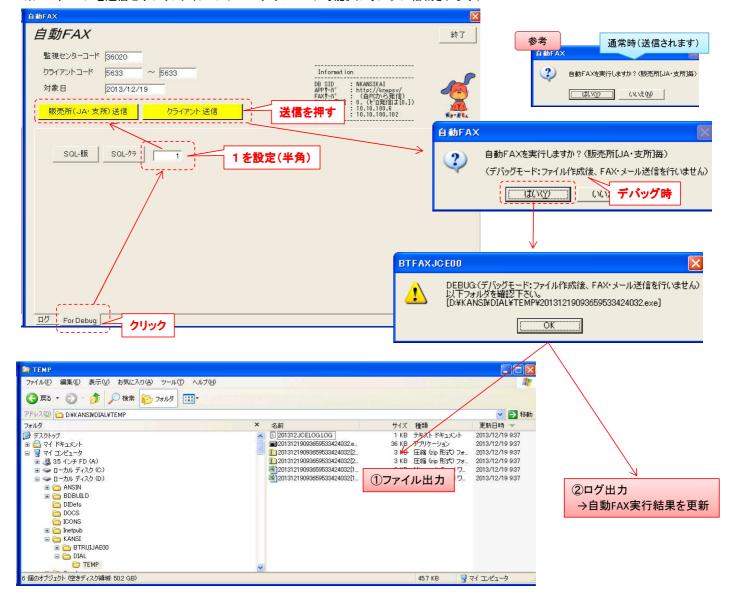
※ ③と⑤の突合に使用できる情報がFAX番号しかないため、同じFAX番号に複数回送信した場合、一覧に重複して表示される。 (例:2回送信すると、4行表示される)。②と合わせて確認することで、送信漏れを確認することができる。

自動FAX

※既存の自動FAX機能に違いはありません。(手動にて監視センター・クライアント・対象日を選択して送信などは、変わらず可能)

【デバッグ機能説明】

※FAX、メールを送信せずに、ファイルのみPCへダウンロード可能。(フォルダに格納されます)



監視CS 2016/12/14 (水)

FAX送信確認機能

【想定ケース例】

ZB

1.自動FAX送信前確認

概要

・ 実際の確認の際に、想定されるケースを例として挙げます。

正常系

- ・「送信先毎」/「明細」が全て〇
 - → 問題なし。
- ケース1. 送信FAX番号、件数が一致。
- ケース2. 送信対象リストは件数 0 かつ総数 1 以上、自動FAX実行結果はナシ。

JΑ	JA-LP監視CS FAX送信確認 01 【128.129.83.142, JA-LP¥ono_unk, 40000, NKANSIKAI】 (<u>0全体確認</u>) (1送信先毎) (<u>2明細) (3データ作成) (4送信結果確認)</u> <mark>图</mark> 圏										
ìŽ	送信単位: 1·JA/販売所 v 監視セツー: 400003監視全て v 対象日: 20131218 検素										
				送信対象リスト					自動FAX実行結果		
No	センタ	ター・クラ	FAX/メール	送信先JA名(FAX番号からマスタに該当した名称)	件総 数数 数数	一致	センター	クラ	FAX/メール	件 0 数途	が件 送信
	320	203200	0178772107	㈱ぱるじゃサービス倉石ガスセンター	1 14JA	0	32020	3200	0178772107	1	0
	320	20 3200	0179252188	㈱ぱるじゃサービス 斗川LPがスセンター	0 1 4:JA	0					
		20 323	01821	(株) かるさど然料サービスLPGC (記 0155)	2 24JA	0	32020	3231	01821	2	U

ケース3.ゼロ件送信。

	EIDEBO OF LIEUTE	9.83.142, JA-LP¥ono_unk, 40000, NKANSIKAI】 <u>(0:全体確</u>	<u>.00/</u> (1.)			-71/10	0.5	211	成 (4送信結果確認) 🗖 🖲		_
送信単位: 1:JA/販売	所 💌 監視センター: 400	00:3監視全て 🔻 対象日: 20131214 検索									
		送信対象リスト		_					自動FAX実行結果		Ξ
0. センター クラ	FAX/メール	送信先JA名(FAX番号からマスタに該当した名称)	件: 数	総数	該当マスタ	一致	センター	クラ	FAX/メール	件数	0
1 32020 3200 0176	722173	JA十和田おいらせ十和田湖SS(短縮 0043)	- 1	1	3:JA支所	0	32020	3200	0176722173	1	
2 32020 3200 0178	273233	舘LPガスセンター(短縮 0046)	- 1	1 -	4:JA	0	32020	3200	0178273233	1	
3 32020 3200 0178	772107	㈱ぱるじゃサードス倉石ガスセンター	2	2.	4:JA	0	32020	3200	0178772107	2	
4 32020 0182		(株)ふるさと燃料サービスLPGC(短 0155)	- 1	1		0	32020		01821	1	
5 32020 3231 0183	732189	JAこまらLPガスセンター(短縮 0160)	1	1	4:JA	\circ	32020	3231	0183732189	1	

異常系

「送信先毎」/「明細」に×あり (問題特定が必要)

ケース1. 送信対象リスト側にデータが存在しない。

→想定外の箇所に送信される可能性がある。



→ このケースは、自動FAX送信時は一致していたが、未完了の対応データを 5 時以前の日時で登録し、再度自動FAXを実行した可能性がある。 ※監視センター側にてJA担当者マスクJA報告先マスタを変えている為、監視センターにて把握済み。

【対応】

まずは、画面上更新日時が5時14分以降か確認頂き、以降の場合は、監視センター内で確認頂く。

以上でわからない場合は、他の原因も考えて調査頂く。

原因が判らない場合の対応手順

- ・ 画面のハードコピーをエクセルに張り付けて保存。([print screen]キーでハードコピー可能。)
- ・ 運行開発部へ連絡
- ・ ×が含まれるクライアントを除き送信。

ケース2. 同一の処理番号が存在する。

→違う宛先に送信される可能性がある。



ightarrow このケースは、自動FAX送信後に該当JAの送信先FAX番号を変え、さらに「送信対象リスト」を再作成した為。

※監視センター側にてJA担当者マスタJA報告先マスタを変えている為、監視センターにて把握済み。

【対応】

まずは、マスタを変更していないか確認頂く。

以上でわからない場合は、他の原因も考えて調査頂く。

原因が判らない場合の対応手順

- ・ 画面のハードコピーをエクセルに張り付けて保存。([print screen]キーでハードコピー可能。)
- ・ 運行開発部へ連絡
- ・ ×が含まれるクライアントを除き送信。

ケース3. 自動FAX実行結果にデータが存在しない

→対応の報告漏れとなる可能性がある。



【対応】

まずは、マスタを変更していないか確認頂く。

以上でわからない場合は、他の原因も考えて調査頂く。

原因が判らない場合の対応手順

- ・ 画面のハードコピーをエクセルに張り付けて保存。([print screen]キーでハードコピー可能。)
- 運行開発部へ連絡
- ・ ×が含まれるクライアントを除き送信。

2.FAX送信結果確認

概要

実際の確認の際に、想定されるケースを例として挙げます。

正常系

上部、送信件数比較が全て○。かつ、下部、送信先毎比較で、ステータス「取り消されました」以外が○。



異常系

・ 上部、送信件数比較に×。または、下部、送信先毎比較で、ステータス「取り消されました」以外が×。

(問題特定が必要)



自動FAX送信前確認機能 【その他】

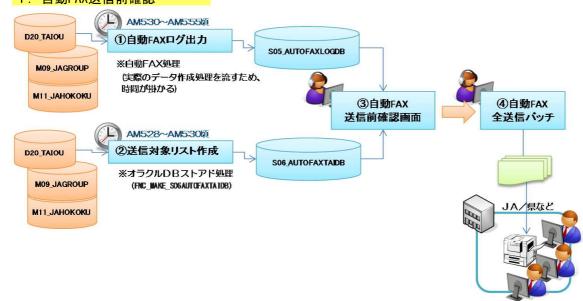
AD権限名

No.	名称	判断
	JA-LP¥¥1運行開発部	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
	JA-LP¥¥集中監視センタ	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
3	JA-LP¥¥東北監視センター	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
4	JA-LP¥¥0監視業務	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
5	JA-LP¥¥0本社営業所管理	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
6	JA-LP¥¥0営業所管理	40000:代行設定ありで、全ての監視センター情報を見れる。
7	JA-LP¥¥追加監視センター	10004:岐阜監視センターのみ。※不使用
8	JA-LP¥¥重複監視センター	10001:農協プロパン監視センター(沖縄)のみ

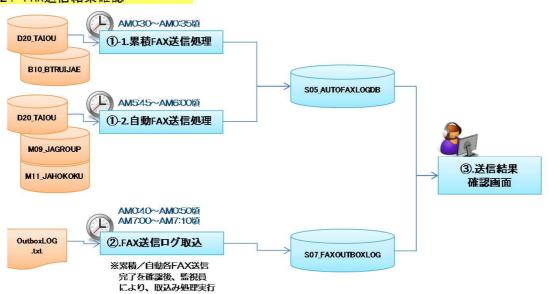
- ※No.1から順に確認し、名称が該当したところの権限となる。
- ※該当がない場合は、「システムにログインする権限がありません。」と表示される。

データフロー

1. 自動FAX送信前確認



2. FAX送信結果確認



システム名	テーブル定義書	2016/12/14(水)
監視CS	/ ンルた技書	ZBS
テーブル名	スキーマ	
D20_TAIOU 対応テーブル	KANSHI	

No.	項 目 名	型	長さ	小数,	公 須	‡ ‡-	備考
	KANSCD	VARCHAR2	5	11.37	Y		
	SYONO	VARCHAR2	11		Ÿ	2	[受信情報]【処理番号】西暦下2桁 + 処理番号7桁
	HATYMD	VARCHAR2	8		Ÿ		[受信情報]【発生日】
	HATTIME	VARCHAR2	6		Y		[受信情報]【発生時刻】
	KENSIN	VARCHAR2	10				[受信情報]【現在検針値】
	KEIHOSU	VARCHAR2	1				[受信情報]【警報メッセージ数】
7	RYURY0	VARCHAR2	2				[受信情報]【流量区分】
8	METASYU	VARCHAR2	20				[受信情報]【メータ種別】メータ種別
	UNY0	VARCHAR2	1				[受信情報]【運用状態】0:未開通、1:運用中、2:休止中
	JUYMD	VARCHAR2	8				[受信情報]【対応受信日】(警報受信日)
	JUTIME	VARCHAR2	6				[受信情報]【対応時刻】(受信時刻)
	NUM_DIGIT	VARCHAR2	1				[受信情報]【メータ桁数】
	KMCD1	VARCHAR2	2				[警報メッセージ]【警報1コード】
	KMNM1	VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報1メッセージ】
	KMCD2	VARCHAR2	2				[警報メッセージ]【警報2コード】
	KMNM2	VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報2メッセージ】
	KMCD3	VARCHAR2	2				[警報メッセージ]【警報3コード】
	KMNM3	VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報3メッセージ】
	KMCD4	VARCHAR2	2				[警報メッセージ]【警報4コード】
	KMNM4	VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報4メッセージ】
	KMCD5 KMNM5	VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報5コード】 [警報メッセージ]【警報5メッセージ】
	KMCD6	VARCHAR2					
	KMNM6	VARCHAR2 VARCHAR2	30				[警報メッセージ]【警報6コード】 [警報メッセージ]【警報6メッセージ】
	ZSISYO	VARCHAR2	1		-+		[音報メッセーン][音報のメッセーン] [利用者]【全農支所コード】
	KURACD	VARCHAR2	10				「利用有」【主展文別コート】 「利用者」【クライアントコード】
	KENNM	VARCHAR2	10				[利用者]【県名】
	JACD	VARCHAR2	7				「利用者」【JAコード】(JA支所マスタより)
	JANM	VARCHAR2	20				[利用者]【JA名】(JA支所マスタより)
	ACBCD	VARCHAR2	10				[利用者]【JA支所コード】
	ACBNM	VARCHAR2	40				[利用者]【JA支所名】
	USER_CD	VARCHAR2	20				[利用者]【お客様コード】(JA支所コード含まず)
	JUSYONM	VARCHAR2	30				[利用者]【お客様名】
	JUSYOKN	VARCHAR2	25				[利用者]【お客様名カナ】
	JUTEL1	VARCHAR2	10				[利用者]【電話番号市外】(数字のみ)
	JUTEL2	VARCHAR2	10				[利用者]【電話番号市外】(数字のみ)
37	RENTEL	VARCHAR2	20				[利用者]【連絡先電話】
	KTELNO	VARCHAR2	20				[利用者]【検索電話番号】(数字のみ)
	ADDR	VARCHAR2	120				[利用者]【住所】(改行なし)
	USER_KIJI	VARCHAR2	100				[利用者]【お客様記事】
	NCU_SET	VARCHAR2	1				[お客様情報]【NCU接続】1:接続(双)、2:接続(端)、3:未接続
	TIZUNO	VARCHAR2	10				[お客様情報]【地図番号】
	GAS_STOP	VARCHAR2	8				[お客様情報]【ガス供給休止日】
	GAS_DELE	VARCHAR2	8				[お客様情報]【ガス供給廃止日】
	GAS_RESTART	VARCHAR2	8				[お客様情報]【ガス供給復活日】
	MET_KATA	VARCHAR2	20				[供給設備]【メータ型式】
	MET_MAKER	VARCHAR2	40				[供給設備]【メータメーカー】
	BONB1_KKG	VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ1容器KG】
	BONB1_HON BONB1_YOBI	VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ1設置本数】 [供給設備]【ボンベ13備フラグ】1.右
	BONB2_KKG	VARCHAR2 VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ1予備フラグ】1:有 [供給設備]【ボンベ2容器KG】
	BONB2_HON	VARCHAR2 VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ2谷番NG】 [供給設備]【ボンベ2設置本数】
	BONB2_YOBI	VARCHAR2	1				[供稿設備]【ボンベ2設直本数】 [供給設備]【ボンベ2予備フラグ】1:有
	BONB3_KKG	VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ3容器KG】
	BONB3_HON	VARCHAR2	4				[供給設備]【ボンベ3設置本数】
	BONB3_YOBI	VARCHAR2	1		1		[供給設備]【ボンベ3予備フラグ】1:有
	BONB4_KKG	VARCHAR2	4		-		[供給設備]【ボンベ4容器KG】
	BONB4_HON	VARCHAR2	4		\dashv		[供給設備]【ボンベ4設置本数】
	BONB4_YOBI	VARCHAR2	1				[供給設備]【ボンベ4予備フラグ】1:有
	BOMB TYPE	VARCHAR2	1				[ボンベ交換]【交換区分】
	ZENKAI_HAISO	VARCHAR2	8				[ボンベ交換]【前回配送日】
	ZENKAI_HAI_S	VARCHAR2	8				[ボンベ交換]【前回配送日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
	KONKAI_HAISO	VARCHAR2	8		1		[ボンベ交換]【今回配送日】
64	KONKAI_HAI_S	VARCHAR2	8		1		[ボンベ交換]【今回配送日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
65	JIKAI_HAISO	VARCHAR2	8		1		[ボンベ交換]【次回配送予定日】
	ZENKAI_KENSIN	VARCHAR2	8				[検針情報]【前回検針日】

システム名		2016/12/14(水)
監視CS	テーブル定義書	ZBS
テーブル名	スキーマ	
D20_TAIOU 対応テーブル	KANSHI	

D20_T	「AIOU 対応テーブル	KANSHI					
No.	頁 目 名	型	長さ	小数	必須	主キー	備考
	ZENKAI_KEN_S	VARCHAR2	8				[検針情報]【前回検針日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
	ZENKAI_KEN_SIYO	VARCHAR2	8				[検針情報]【前回検針日・使用量】(右1桁が小数点以下として表示)
	KONKAI_KENSIN	VARCHAR2	8				[検針情報]【今回検針日】
	KONKAI_KEN_S	VARCHAR2	8				[検針情報]【今回検針日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
	KONKAI_KEN_SIYO	VARCHAR2	8				[検針情報]【今回検針日・使用量】(右1桁が小数点以下として表示)
	ZENKAI_HASEI	VARCHAR2	8				[ボンベ切替]【前回発生日】
	ZENKAI_HAS_S	VARCHAR2	8				[ボンベ切替]【前回発生日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
	KONKAI_HASEI	VARCHAR2	8				[ボンベ切替]【今回発生日】
	KONKAI_HAS_S	VARCHAR2	8				[ボンベ切替]【今回発生日・指針】(右1桁が小数点以下として表示)
	G_ZAIKO	NUMBER	9	1			[使用量]【配送日からの推定使用量】(警報受信時のメータ指針一直
	ICHI_SIYO	VARCHAR2	8				[使用量]【1日当り使用量】(右1桁が小数点以下として表示)
	YOSOKU_ICHI_SIYO		8				[使用量]【予測1日当り使用量】(右1桁が小数点以下として表示)
	GAS1_HINMEI	VARCHAR2	20				[ガス器具]【ガス器具1品名】
	GAS1_DAISU	VARCHAR2	2				[ガス器具]【ガス器具1台数】
	GAS1_SEIFL	VARCHAR2	1				[ガス器具]【ガス器具1セイフル】1:有り/2:無し
	GAS2_HINMEI	VARCHAR2	20				[ガス器具]【ガス器具2品名】
	GAS2_DAISU	VARCHAR2	2				[ガス器具]【ガス器具2台数】
	GAS2_SEIFL	VARCHAR2	1				[ガス器具]【ガス器具2セイフル】1:有り/2:無し
85	GAS3_HINMEI	VARCHAR2	20				[ガス器具]【ガス器具3品名】
86	GAS3_DAISU	VARCHAR2	2				[ガス器具]【ガス器具3台数】
	GAS3_SEIFL	VARCHAR2	1				[ガス器具]【ガス器具3セイフル】1:有り/2:無し
	GAS4_HINMEI	VARCHAR2	20				[ガス器具]【ガス器具4品名】
	GAS4_DAISU	VARCHAR2	2				[ガス器具]【ガス器具4台数】
	GAS4_SEIFL	VARCHAR2	1				[ガス器具]【ガス器具4セイフル】1:有り/2:無し
	GAS5_HINMEI	VARCHAR2	20				[ガス器具]【ガス器具5品名】
	GAS5_DAISU	VARCHAR2	2				[ガス器具]【ガス器具5台数】
	GAS5_SEIFL	VARCHAR2	1				[ガス器具]【ガス器具5セイフル】1:有り/2:無し
	HATKBN	VARCHAR2	1		Υ		[対応情報]【発生区分】1:電話/2:緊急警報
	HATKBN_NAI	VARCHAR2	30				[対応情報]【発生区分・内容】
	TAIOKBN	VARCHAR2	1				[対応情報]【対応区分】1:電話対応/2:出動指示/3:重複
	TAIOKBN_NAI	VARCHAR2	30				[対応情報]【対応区分・内容】
	TMSKB	VARCHAR2	1				[対応情報]【処理区分】1:未処理/2:処理済み/3:出動対応中
	TMSKB_NAI	VARCHAR2	30				[対応情報]【処理区分・内容】
	TKTANCD	VARCHAR2	5				[対応情報]【監視センター担当者CD】
	TKTANCD_NM	VARCHAR2	60				[対応情報]【監視センター担当者名】
	TAITCD	VARCHAR2	5				[対応情報]【連絡相手CD】
	TAITNM	VARCHAR2	60				[対応情報]【連絡相手名】
	TAIO_ST_DATE	VARCHAR2	8				[対応情報]【対応開始日】
	TAIO_ST_TIME	VARCHAR2	6				[対応情報]【対応開始時刻】
	SYOYMD	VARCHAR2	8				[対応情報]【対応完了日】
	SYOTIME	VARCHAR2	6				[対応情報]【対応完了時刻】
	TAIO_SYO_TIME	VARCHAR2	5				[対応情報]【対応所要時刻】
109	FAXKBN	VARCHAR2	1				[対応情報]【FAX不要(JA)】1:不要 2:必要
110	TELRCD	VARCHAR2	5				[対応情報]【電話連絡】
	TELRNM	VARCHAR2	60				[対応情報]【電話連絡・内容】
	TFKICD	VARCHAR2	5				[対応情報]【復帰対応状況】
	TFKINM	VARCHAR2	60				[対応情報]【復帰対応状況・内容】
	FUK_MEMO	VARCHAR2	100				[対応情報]【復帰操作メモ】
	TEL_MEMO1	VARCHAR2	100				[対応情報]【電話対応メモ1】
	TEL_MEMO2	VARCHAR2	100				[対応情報]【電話対応メモ2】
	MITOKBN	VARCHAR2	1				[対応情報]【未登録FLG】CTIでお客様がいなかった時1
	TKIGCD	VARCHAR2	5				[原因]【ガス器具】
	TKIGNM	VARCHAR2	60				[原因]【ガス器具・内容】
	TSADCD	VARCHAR2	5				[原因]【作動原因】
	TSADNM	VARCHAR2	60				[原因]【作動原因・内容】
	GENIN_KIJI	VARCHAR2	160				[原因]【お客様記事】(原因)
	SDCD	VARCHAR2	5				
	SDNM	VARCHAR2	60				[出動指示]【出動指示・内容】
	SIJIYMD	VARCHAR2	8			ļ	[出動指示]【出動指示日】
	SIJITIME	VARCHAR2	6				[出動指示]【出動指示時刻】
	SIJI_BIK01	VARCHAR2	70			ļ	[出動指示]【出動指示備考1】
	SIJI_BIK02	VARCHAR2	70				[出動指示]【出動指示備考2】
	STD_JASCD	VARCHAR2	10				[連絡先]【連絡先JA支所コード】
	STD_JANA	VARCHAR2	20				[連絡先]【連絡先JA名】
	STD_JASNA	VARCHAR2	40				[連絡先]【連絡先JA支所名】
132	REN_NA	VARCHAR2	60				[連絡先]【一次連絡先担当者名】

システム名		2016/12/14(水)
監視CS	テーブル定義書	ZBS
テーブル名	スキーマ	
D20_TAIOU 対応テーブル	KANSHI	

D20_1	「AIOU 対応テーフル	KANSHI					
No.	頁 目 名	型	長さ	小数	必須	主キー	備考
	REN_TEL_1	VARCHAR2	15				[連絡先]【一次連絡先電話番号1】
134	REN_TEL_2	VARCHAR2	15				[連絡先]【一次連絡先電話番号2】
135	REN_FAX	VARCHAR2	15				
	REN_BIKO	VARCHAR2	60				[連絡先]【一次連絡先備考】
	REN_1_NA	VARCHAR2	60				[連絡先]【二次連絡先1担当者名】
	REN_1_TEL1	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先1電話番号1】 [連絡先]【二次連絡先1電話番号2】
	REN_1_TEL2	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先1電話番号2】
	REN_1_FAX	VARCHAR2	15				
	REN_1_BIKO	VARCHAR2	60				[連絡先]【二次連絡先1備考】
142	REN_2_NA	VARCHAR2	60				[連絡先]【二次連絡先2担当者名】
	REN_2_TEL1	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先2電話番号1】
	REN_2_TEL2	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先2電話番号2】
	REN_2_FAX	VARCHAR2	15				
	REN_2_BIKO	VARCHAR2	60				[連絡先]【二次連絡先2備考】
	REN_3_NA	VARCHAR2	60				[連絡先][二次連絡先3担当者名]
	REN_3_TEL1	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先3電話番号1】
	REN_3_TEL2	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先3電話番号2】
	REN_3_FAX	VARCHAR2	15				
	REN_3_BIKO	VARCHAR2	60				[連絡先]【二次連絡先3備考】
	STD_CD	VARCHAR2	5				[連絡先]【出動会社コード】
153	STD KVOTEN OD	VARCHAR2	40				[連絡先]【出動会社名】
	STD_KYOTEN_CD	VARCHAR2	3				[連絡先]【出動会社拠点コード】
	STD_KYOTEN	VARCHAR2	40				[連絡先][出動会社拠点名]
	STD_TEL	VARCHAR2	15				[連絡先]【発信電話番号】
	TEL_BIKO	VARCHAR2	100				[連絡先]【電話連絡備考】
	FAX_TITLE	VARCHAR2	200				
	FAX_REN	VARCHAR2	140				「山卦处用了京后老,「叭山卦入头也火老,」
	TSTANCD	VARCHAR2	5 60				[出動結果]【受信者コード】出動会社担当者コード
	TSTANNM	VARCHAR2	3				[出動結果]【受信者氏名】
	STD_KYOTEN_CD_I STD_KYOTEN_I	VARCHAR2 VARCHAR2	40				
	SYUTDTNM	VARCHAR2	16				[出動結果]【出動対応者】
	ORNCU	VARCHAR2	10				[出動結果]【NCU有無】
	TYAKYMD	VARCHAR2	8				[出動結果]【到着日】
	TYAKTIME	VARCHAR2	6				[出動結果]【到着時間】
	SYOKANYMD	VARCHAR2	8				[出動結果]【処理完了日】
	SYOKANTIME	VARCHAR2	6				[出動結果]【処理完了時間】
170	AITCD	VARCHAR2	5				[出動結果]【対応相手】
171	AITNM	VARCHAR2	60				[出動結果]【対応相手名】
	METHE I KAKU	VARCHAR2	1				[出動結果]【不在時の措置 メータ遮断弁閉止確認】1:有
	RUSUHARI	VARCHAR2	1				[出動結果]【不在時の措置 留守宅表示の貼付】1:有
	METFUKKI	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 メータ復帰】1:有
	HOAN	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 保安】1:有
	GASGIRE	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 ガス切れ】1:有
	KIGKOSYO	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 器具故障】1:有
	CSNTGEN	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 その他】1:有
	CSNTNGAS	VARCHAR2	1				[出動結果]【お客様のお話 ガス以外】1:有
	SDTB1K1	VARCHAR2	70				[出動結果]【お客様のお話特記事項】
	KIGCD	VARCHAR2	5				[出動結果]【器具原因コード】
	KIGNM	VARCHAR2	60				[出動結果]【器具原因名称】
	SADCD	VARCHAR2	5				[出動結果]【作動原因コード】
184	SADNM	VARCHAR2	60				[出動結果]【作動原因名称】
185	STACD	VARCHAR2	5				[出動結果]【その他原因コード】
186	STANM	VARCHAR2	60			Ĺ	[出動結果]【その他原因名称】
	ASECD	VARCHAR2	5			Ĺ	[出動結果]【圧カセンサー作動原因】
	ASENM	VARCHAR2	60			Ĺ	[出動結果]【圧カセンサー作動原因】
189	FKICD	VARCHAR2	5				[出動結果]【復帰操作コード】
	FKINM	VARCHAR2	60				[出動結果]【復帰操作名称】
	JAKENREN	VARCHAR2	16				[出動結果]【JA/県連への連絡相手】
192	RENTIME	VARCHAR2	6				[出動結果]【JA/県連への連絡時間】
	KIGTAIYO	VARCHAR2	1				[出動結果]【簡易ガス器具の貸与】1:有
	GASMUMU	VARCHAR2	1				[出動結果]【ガス漏れ点検】0:有 1:無
	ORGENIN	VARCHAR2	1				[出動結果]【ガス漏れ点検有 原因 ガス器具】1:有
	HAIKAN	VARCHAR2	1				[出動結果]【ガス漏れ点検有 原因 配管】1:有
	GASGUMU	VARCHAR2	1				[出動結果]【ガス切れ確認】0:有 1:無
198	HOSKOKAN	VARCHAR2	1				[出動結果]【ゴムホース交換】0:実施 1:未実施

システム名		2016/12/14(水)
監視CS	テーブル定義書	ZBS
テーブル名	スキーマ	
D20_TAIOU 対応テーブ	KANSHI	

D20_T	AIOU 対応テーブル	KANSHI					
No.	項 目 名	型	長さ	小数	必須	主キー	備考
	METYOINA	VARCHAR2	1				[出動結果]【その他点検 メータ】0:良 1:否
	TYOUYOINA	VARCHAR2	1				[出動結果]【その他点検 調整器】0:良 1:否
	VALYOINA	VARCHAR2	1				[出動結果]【その他点検 容器・中間バルブ】0:良 1:否
	KYUHA I UMU	VARCHAR2	1				[出動結果]【その他点検 吸排気口】0:有 1:無
	COYOINA SDTBIK2	VARCHAR2 VARCHAR2	200				[出動結果]【その他点検 CO濃度】0:良 1:否 [出動結果]【特記事項】
	SNTTOKKI	VARCHAR2	200				[山動紀末]【付記事項】 [出動結果]【その他特記事項】
	LTOS_DATE	VARCHAR2	8				[山野紀末]【COIC内記事項】 [レコード情報]【LTOS連動日】(デフォルトALLO)
	ADD_DATE	VARCHAR2	8				[レコード情報]【レコード作成日】
	EDT_DATE	VARCHAR2	8				[レコード情報]【レコード更新日】
209	EDT_TIME	VARCHAR2	6				[レコード情報]【レコード更新時刻】
	BIKOU	VARCHAR2	20				
	FAX_TITLE_CD	VARCHAR2	5				
	SDTB1K3	VARCHAR2	100				Files A 1 3 desire
213	SDYMD	VARCHAR2	8				[出動会社]出動日
	SDTIME SDSKBN	VARCHAR2	6				[出動会社]出動時刻 [出動会社]出動会社処理区分 1:未処理/2:処理済/3:出動対応中
	SDSKBN_NAI	VARCHAR2 VARCHAR2	30				[出動会社]出動会社処理区分・1:未処理/2:処理済/3:出動対心中 [出動会社]出動会社処理区分・内容
	NCUHATYMD	VARCHAR2	8				[監報]NCU警報発生日
	NCUHATT I ME	VARCHAR2	6				[晉報]NCU警報発生時刻
	FAXKURAKBN	VARCHAR2	1		Υ		[対応情報]【FAX不要(クライアント)】1:不要 2:必要 20100712T.WATABE
	SYORI_SERIAL	VARCHAR2	6		-		[警報]【SEQ番号】『連番』20120628 W.GANEKO ADD
221	KAITU_DAY	DATE					[お客様情報]【本日工事状況】20131125 T.Ono add
	HANJICD	VARCHAR2	30				[利用者]販売事業者コード(販売事業者マスタ:グループコード)
223	HANJINM	VARCHAR2	60				[利用者]販売事業者名(販売事業者マスタ:販売事業者名)
	REN_TEL_3	VARCHAR2	15				[連絡先]【一次連絡先電話番号3】
	REN_1_TEL3	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先1電話番号3】
	REN_2_TEL3	VARCHAR2	15				[連絡先]【二次連絡先2電話番号3】
	REN_3_TEL3 FAXRUISEKIKBN	VARCHAR2 VARCHAR2	15 1				[連絡先]【二次連絡先3電話番号3】
	HANBAI_KBN	VARCHAR2	1				[対応情報]【報告不要(累積)】1:不要、2:必要 [お客様情報]販売区分
	RENTEL2	VARCHAR2	15				[お客様情報]連絡先2
	RENTEL2_BIKO	VARCHAR2	24				[お客様情報]連絡先2 備考
232		VARCHAR2	8				[お客様情報]連絡先2 更新日
233	RENTEL3	VARCHAR2	15				[お客様情報]連絡先3
	RENTEL3_BIK0	VARCHAR2	24				[お客様情報]連絡先3 備考
	RENTEL3_UPD_DATE	VARCHAR2	8				[お客様情報]連絡先3 更新日
	KANSHI_BIKO	VARCHAR2	30				[お客様情報]監視備考
	TUSIN	VARCHAR2	1				[お客様情報]NCU接続区分
	KYOKTKBN	VARCHAR2	1				[お客様情報]供給形態区分
	HOKBN	VARCHAR2	1				[お客様情報]適用法令区分
	YOTOKBN	VARCHAR2	1				[お客様情報]用途区分
	DAIHYO_NAME	VARCHAR2	30				[利用者]法人代表者氏名
	HANBCD	VARCHAR2	5				[利用者]販売事業所コード
243	TELAB	VARCHAR2	20				[利用者]電話番号
244	DAI3RENDORENTEL	VARCHAR2	15				[利用者]第3連動連絡先
	JAHOKOKUCD	VARCHAR2	30				[利用者]JA報告先コード(JA報告先マスタ:グループコード)
	FAXSPOTKBN	VARCHAR2	1				[対応情報] 【スポットFAX】1:未送信 2:送信済み
			<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	
	EPK_D20_TAIOU	(KANSCD, SYONO)					
	I D20 TAIOU	HATYMD. HATTIME					
	I_D20_TATOU10	"SYOYMD" "SYOTIMF" "SYOKANYMD" "SYOKANTIMF"					
	I_D20_TAIOU11	TO_DATE("HATYMD" "HATTIME",'YYYY/MM/DD HH24:MI:SS')					
	I_D20_TAIOU12	KURACD, ACBCD, JACD, HATKBN, HATYMD					
	I_D20_TAIOU2	KURACD, ACBCD, USER_CD					
	I_D20_TAIOU3	STD_CD, TAIOKBN, TMSKB, TFKICD					
	I_D20_TATOU4	KANSCD, TMSKB					
	I_D20_TAIOU6	KANSCD, HATYMD, HATTIME, KURACD, ACBCD, USER_CD, JUSYONM, JUSYOKN, KTELNO, HATKBN, TAIOKBN, TMSKB, TKTANCD					
	I_D20_TAIOU7	KANSCD, HAT	YMD, I			,	
	I_D20_TAIOU8	KANSCD, SDSKBN					
	I_D20_TAIOU9	"SYOYMD" "	SYOTII	ИΕ″,	"SYO	(ANYMI	D" "SYOKANTIME"